

## 2 目標達成計画

目標達成計画は、自己評価及び外部評価結果をもとに次のステップへ向けて取り組む目標を職員一同で話し合いながら作成します。  
目標が一つも無かったり、逆に目標をたくさん掲げすぎて課題が焦点化できなくならないよう、事業所の現在のレベルに合わせた目標水準を考えながら、優先して取り組む具体的な計画を記入します。

【目標達成計画】					
優先順位	項目番号	現状における問題点、課題	目標	目標達成に向けた具体的な取り組み内容	目標達成に要する期間
1	4	災害時の救助活動について話し合いはしているが、一緒に実際の訓練活動は出来ていない。また認知症への理解が管理者、ケアマネを通してだけの報告になっている。	避難訓練を一緒にする。認知症やその他介護保険に関する研修は地域包括から専門スタッフも参加してもらい行う。	運営推進会議時に避難訓練や研修を兼ねる。	6 か月
2	33	現在、重度化と看取りが混同してしまっている。どの程度まで対応できるかがあやふやになっている。	重度化と看取りを分けて、それぞれ入居契約書に明文化する。	訪問看護、主治医などの意見を聞き、運営推進会議で家族も交え具体的に決めていく。	6 か月
3	35	夜間を想定して訓練をしているが、日中と夜間では状況が変わってくる。また地震対策訓練も乏しい。	想定訓練ではなく、実際に夜間に訓練できるように、運営推進会議などで地域住民の協力をもらう。	地元の方に地震対策をどのようにされているか意見をもらい、訓練に協力してもらう。	6 か月
4					か月
5					か月

注1) 項目の欄については、自己評価項目のNo.を記入して下さい。□

注2) 項目数やセルの幅が足りない場合は、行を挿入してください。